

製品名: CTCF マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80935**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | 人間、猿 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 83kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 遺伝子名 | CTCF |
| 別名 | CTCF |
| 遺伝子 ID | 10664.0 |
| SwissProt ID | P49711 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト CTCF の精製された組み換え断片。 |

背景

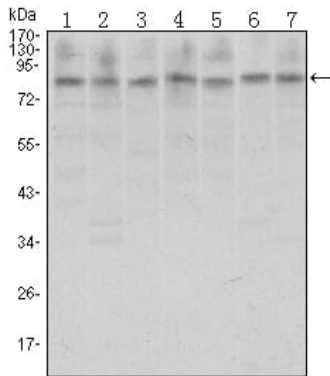
この遺伝子は BORIS + CTCF 遺伝子ファミリーのメンバーであり、11 個の高度に保存されたジンクフィンガー（ZF）ドメインを持つ転写調節タンパク質をコードしています。この核タンパク質は、ZF ドメインの様々な組み合わせを用いて、様々な DNA 標的配列お

よびタンパク質に結合することができます。結合部位の状況に応じて、タンパク質はヒストンアセチルトランスフェラーゼ (HAT) を含む複合体に結合して転写活性化因子として機能するか、ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) を含む複合体に結合して転写抑制因子として機能することができます。タンパク質が転写インシュレーターエレメントに結合した場合、エンハンサーと上流プロモーター間の情報伝達を阻害し、それによってインプリント発現を調節することができます。この遺伝子の変異は、浸潤性乳がん、前立腺がん、およびウィルムス腫瘍と関連付けられています。組織特異性: 普遍的。一次精母細胞には存在しません。

研究分野

-

画像データ



A31 (1)、MCF-7 (2)、Hela (3)、HCT116 (4)、Jurkat (5)、NIH/3T3 (6)、および Cos7 (7) 細胞溶解物に対する CTCF マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。